

# 小学校国語調査部会報告

## 【読むこと】

### 1 課題のある問題

国語 A ⑤

出題内容 広告を読み、編集の特徴を捉える問題。

出題形式 選択

履修学年 5・6年

	正答率	無解答率
全国	61.1	9.2
宇部市	53.3	13.6

## 【広告】

①

ホーム転落事故0へ。

「ひと声マナー」  
はじめよう。

②

こま  
お困りですか？

てっだ  
お手伝い  
しましょうか？

あぶ  
そちらは  
危ないですよ

だんさ  
段差が  
ありますよ

目が不自由な方の転落事故を防ぐために

○まずは声をかける。  
○黄色いブロックに物を置かない、立ち止まらない。

国土交通省 JAFRA  
日本民間鉄道協会

JR東日本・JR東海・JR西日本・東武・西武・京成・京王・小田急・東急・京急・東京メトロ・相鉄・名鉄・近鉄・南海・京阪・阪急・阪神・新京成・北総・東横高速・りんかい線・東武東上線・横浜高速・埼玉高速・つくばエクスプレス・ゆりかもめ・北大阪急行・京北高速・山陽・東武東上線・横浜交通局・名古屋交通局・京都市交通局・大塚市交通局・神戸市交通局

—— エレベーターの優先利用にもご協力を ——

5

小島さんは、駅にはいられていた、次の【広告】を見て、考えたことをノートにまとめました。

【小島さんのノートの一部】の

ア・イ

の中に入る内容として最もふさわしいものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

※【広告】の中の②には、ふりがなを付けてあります。

【小島さんのノートの一部】

この広告には、駅のホームで目が不自由な方に出会ったときに、声をかけることをすすめようとするねらいがある。

そのために、まず、①の部分では、広告の作り手がよびかけの表現を用いて大きな文字で示している。そのことは、広告を見る人に強い印象をあたえている。

次に、②の部分では、①をもとに、実際にことにより、広告を見る人が行動につながりやすくなっている。

（内容が続く）

イ

を示している。その

ア

内容を、

1 広告を見る人に行動をうながそうとする

2 目が不自由な方を勇気づけようとする

3 疑問に思ったことを報告しようとする

ア

1 声をかけるときの順序

2 声をかけるときの注意点

3 声をかけるときの具体例

イ

【正答例】

- ア 1 広告を見る人に行動をうながそうとする  
イ 3 声をかけるときの具体例

【やまぐち学習支援プログラム等の活用】

学力状況確認のために 5年 単元問題 Sk5ch2 読むこと B・2  
ホームページを読む「文化祭」

【指導のポイント】

- ・ 広告、新聞、雑誌、情報誌などを内容や形式の両面から注目し、編集の特徴を捉えることができるようにする。
  - ・ 全体を概観しながら、キャッチコピー（見る人に関心をもたせる宣伝文句）の表現技法、文章と写真や絵との関係、文字の大きさや配置などの効果などを観点として捉えさせる。
- 日頃の授業で、主述の関係・接続語の役割を捉えながら隅々まで読んで全体を正確に理解する。
- 資料と文章を関連させながら情報を正確に読み取ったり必要な情報を捉えたりする。

国語 A 6

出題内容 俳句の情景を捉える問題。  
 出題形式 選択式  
 履修学年 3～6年

	正答率	無解答率
全国	47.5	14.4
宇部市	42.8	20.7

6

大林さんの学級では、グループごとにお気に入りの俳句を選んできて、しょうかいし合うことになりました。大林さんのグループでは、次の【俳句】を選び、考えたことを話し合っています。  
 【大林さんのグループの話し合いの一部】の **ア**・**イ** の中に入る最もふさわしい言葉を、あとの1か2のいずれか一つ選んで、その番号をそれぞれ書きましよう。

【俳句】

とつぷり(つ)と後ろ暮れ(い)るし焚火(たきび)かな

松本たかし

【大林さんのグループの話し合いの一部】

大林 「焚火かな」というのは、「焚火だろうか」と疑問に思っているのかな。

池田 それはどうかな。今までの俳句の中に出てきた「かな」というのは、感動を表すときに使われていたわ。この俳句の「かな」も、「焚火だなあ」と焚火の様子をしみじみ

思うという意味と考えたほうがいいんじゃないかしら。

木村 なるほど。そうすると、「とつぷりと後ろ暮れるし」の部分が大切になってくるね。その部分を想像すると、日がすっかりしずんで周りが暗くなっている様子が目に

うかぶね。

小松 そうね。そのことが「とつぷりと」という言葉に表れているね。ここでは、焚火と

その周りの景色けしきとを、

**ア**

いるように思うわ。

大林 そう考えてみると、焚火の周りの景色によって、

**イ**

がいつそう

強調されて、その様子がはっきりと想像されるね。

（話し合いが続く）

ア

2 1

対比して 分類して

イ

2 1

夜の暗やみ 焚火の明るさ

### 【正答例】

ア 2 対比して

イ 1 焚火の明るさ

### 【やまぐち学習支援プログラム等の活用】

学力状況確認のために 5年 単元問題 Sk5ch5 読むこと B-5  
物語を読みとる「一房の葡萄」

### 【指導のポイント】

- ・ 俳句の構造に着目し、作者の感動を中心に捉えられるような指導が必要である。そのためには、作者がどのような場面を切り取って詠んだ俳句であるかを捉えるとともに、17音に厳選された表現の工夫について自分の考えをもたせる指導が必要である。
  - ・ 音読や暗唱などの言語活動を取り入れ、季節や風情、俳句に込められた気持ちなどを思い浮かべ、リズムから言葉の美しい響きを感じ取ることができるような指導をする。
  - ・ 俳句は様々な解釈が可能であり、一人ひとりの解釈を交流することで、自分の解釈を広げたり深めたりすることができる。俳句を創作した後で句会を開き、それぞれの解釈について理由を添えて交流し、互いに評価し合うような指導をする。
- 教科書の「学習の手引き」を大切に扱うことで文章の読み方・押さえておくべき言葉を確認できる。
- 俳句を味わう学習では、解釈の根拠となる表現に着目することで、感動を共有することができる。

国語 B 3

出題内容 2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える問題。

出題形式 短答式

履修学年 5・6年

	正答率	無解答率
全国	44.6	30.6
宇部市	40.4	35.4

【本間さんが書いた すいせん文】	【花田さんが書いた すいせん文】	
○ 作者の作品を集めた本 ・「手ぶくろを買いに」 ・「おじいさんのランプ」	○ 「ごんぎつね」	どのような本や文章をすすめているか
○ ア	○ 物語をくり返し読んだ経験がない人	どのような人にすすめているか
○ ウ 〈読むことを通した効果の面から〉 ○ 作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができるから。	○ イ 〈作品の持ちようの面から〉 ○ 物語の最後の部分に深い味わいがあるから。	すすめる理由

【ノート】  
 ー 前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、分かったことをノートにまとめました。  
 【ア】の  
 【イ】の  
 【ウ】  
 の中に入るふさわしい内容を、本文中の言葉を使って書きましよう。

【正答例】

- ア 物語の作者に注目して本や文章を読んだ経験がない人
- イ この物語がどのように続くのか想像しながら最後の部分を何度も読み返したこと  
青いけむりにこめられた意味を少し理解できたような気がする
- ウ 同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出会うことができたから。

## 【やまぐち学習支援プログラム等の活用】

学力状況確認のために 5年 単元問題 Sk5ch1 読むこと B-1

二つの感想文を読む「仕事見学会」

### 【指導のポイント】

- ・ 目的に応じて本や文章を読み、相手意識を明確にして推薦文を書くために、自分の目的とともに、推薦する相手の目的も考慮し、どのような本や文章を取り上げるのか、取り上げた本や文章の何を主に推薦するのかを明確にするように指導する。
  - ・ 共通のテーマや作者に関連する本や文章を読んだり、作者自身のことについて調べたりして推薦文を書く指導をする。
  - ・ 本の帯や広告カード（ポップ）、ポスターや読書郵便、リーフレットやパンフレットなどいろいろな方法で本の推薦をするように指導する。
  - ・ 登場人物や作品の構造、表現・叙述、視点などの観点に基づき、それらに関連付けて読ませるとともに自他の読み方の工夫などについて交流させる。
  - ・ 各自の読み方の自覚化を図るとともに多様な選書の仕方や効果的な読み方を工夫することができるように指導する。
- 
- 主述の関係・接続語や指示語の役割に気をつけながら読む習慣をつける。
  - 授業の中で、課題を意識した読みができるように教師が投げかけていく。

【話す・聞く】  
課題のある問題

国語 A7

出題内容 スピーチの表現を工夫する問題  
出題形式 選択式  
履修学年 5・6年

	正答率	無解答率
全国	43.2	21.9
宇部市	37.1	28.6

7

次は、去年の選抜高等学校野球大会開会式での【選手宣誓の一部】です。  
の表現は、話し手がどのようなふうをすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。  
(解答の順序は、問いません。)

【選手宣誓の一部】

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興の真つ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。  
人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう。日本の底力、絆を。

（宣誓が続く）

選手宣誓の様子の写真

▲選手宣誓の様子

(第八十四回選抜高等学校野球大会開会式選手宣誓による。)

- ※1「宣誓」…多くの人の前でちかいを述べること。  
※2「復興」…もとのように再び盛んになること。  
※3「絆」…人と人との強いつながり。

- 1 人や物、出来事を、ほかの何かにたとえることで、想像しやすくしようとしている。
- 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並べることで、思いを明確にしようとしている。
- 3 同じ言葉を何度もくり返して使うことで、伝えたいことを強調しようとしている。
- 4 動きや音声を言葉で表すことで、その場の様子を分かりやすくしようとしている。
- 5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

【正答例】

- 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並べることで、思いを明確にしようとしている。
- 5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。



## 【やまぐち学習支援プログラム等の活用】

### ◇やまぐち学習支援プログラム

学力の状況確認のために 領域単元別評価問題

5年 sk5ah2 スピーチをする 好きな人物の紹介

5年 三学期末評価問題 四

## 【指導のポイント】

- ・ スピーチの効果を交流し、表現技法を高めていく指導をする。目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成や表現技法を工夫してスピーチをさせる。

**Ex)** 5 学年国語教科書「すいせんします」で2つの推薦文を比較して、話の構成や表現技法の工夫を見つける

- ・ スピーチ原稿を書いて、それを基に交流するような場を設定する。
- ・ 倒置法や比喩法、体言止めや反復法などの表現技法を意識した短文づくりやスピーチに取り組みせ、価値付ける。



### 【正答例】

(川本さんは、) 5年生の考えを受け止め、新たな考えを示すとともに活動の目的を確かめることの大切さについて助言している。(60字)

(正答の条件)

- ① 川本さんの助言について以下の内容を取り上げている。
  - a 5年生の考えを受け止める。
  - b 新たな考えを示す。
  - c 活動の目的を確かめる。
- ② 書き出しの言葉に続くように、書き出しの言葉を含めて、40字以上、60字以内で書いている。

## 【やまぐち学習支援プログラム等の活用】

### ◇やまぐち学習支援プログラム

学力の状況確認のために 領域単元別評価問題

5年 sk5ah4 討論する ゲーム機は不要か必要か

5年 一学期末評価問題 四

## 【指導のポイント】

- ・ 1つのグループ内で助言をし合っている様子を他のグループが観察するような場面を設定し、それぞれの助言の仕方について評価し合うような指導を意図的計画的に行うことが必要である。
- Ex) 5学年国語教科書「きいて きいて きいてみよう」で活動の様子を客観的に見てアドバイスし合う
- Ex) 5学年国語教科書「豊かな言葉の使い手になるためには」で討論の仕方や内容について意見交流をする
- ・ 本や文章、実物や映像などの資料を提示しながら、説明や報告を聞き、助言や提案を行うときは、説明や報告の内容に関する観点や、時間配分や資料の提示の仕方、資料等への目配り、表情などといった説明や報告の仕方に関する観点を示していく必要がある。
  - ・ プレゼンテーションなどの言語活動を設定し、上記の観点に基づいて助言をし合うことを通して、相手や目的、意図に応じた話す力や聞く力の高まりを実感するような指導をする。
  - ・ 学校生活、授業の中で子ども同士の発言の関わりを教師が意識して取り上げる。

# 小学校国語 まとめ

## 1 全体的な傾向

○学習指導要領の領域別に全国平均と比較すると、「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」の領域が特に低い。

(「話すこと・聞くこと」A：-1.2 B：-6.1、「読むこと」A：-5.9 B：-2.7)

## 2 「話すこと・聞くこと」領域の回答結果及び改善のための手立てについて

「話すこと・聞くこと」領域からの出題は、問題数が少ないので1つの問題の正答率が大きく影響する。今回この領域の正答率が下がったのは、A問題<sup>7</sup>(スピーチ(選手宣誓)の表現の工夫を言葉で説明する問題)の正答率の影響である。

「話すこと・聞くこと」の学習状況をペーパーテストにより評価するには、話し方の工夫を文章表現による説明で問うこととなる。感覚的に上手にスピーチができるだけでなく、そのスピーチがどうして良いのかが言葉で説明できなくてはならない。

友達のスピーチを聴き、児童がコメントする活動はよく行われていると思われるが、評価の根拠がはっきりしたコメント(たとえを使って想像しやすくしている。短い言葉で区切って思いを明確にしている。等)を教師が意識的に取り上げ、しっかりと価値づけることが必要であろう。

また、このようなコメントに用いられる語彙は、ある程度限られてくるものと思われる。学習支援プログラムの類似問題を解かせることで、それらの語彙に馴染ませることも効果的であろう。

今回同じく正答率の低いB問題の<sup>1</sup>三は、同様の問題(話し合いにおける、ある発言の良さについて説明する)が記述式になったものである。一般的には記述式の問題の方が選択式の問題より回答率が低くなるが、今回の場合、選択式のA問題の方が正答率が低い。評価の根拠を表現するための語彙が十分ではないために、選択肢の意味をつかみきれなかったことが考えられる。

「情報に対する批判的な態度」は今求められている学力の重要な要素であるが、その「態度」を表出させるためには、評価の根拠を表現するための語彙の充実が不可欠である。

## 3 「読むこと」領域の回答結果及び改善のための手立てについて

「話すこと・聞くこと」の項の繰り返しとなるが、情報に対する「批判的な態度」が新しい学力観の要点であり、文章等にかかれた事実を読み取るだけでなく、「表現者の意図」をいかに読み取るかという能力が求められている。このような、身に付けさせるべき学力観の変化は、教科書の「学習の手引き」の部分に反映されているので、過去に指導した経験のある馴染み深い教材であっても、これらを参考にして、新しいねらいに沿った授業展開をすることが必要である。

「読むこと」の領域は、PISAの影響からか、学校現場で一般的に使用されている単元末の業者テストの様な問題(説明文や物語文を読み取って回答する形式の問題)は出題されない。今回出題されたのは、ポスターの制作意図を読み取る問題(PISAでいうところの非連続型テキストの読み取り)、俳句の鑑賞について書かれた評論文の読み取り、そして児童が書いた「ごんぎつね」の読書案内についての読み取り。これらの問題はいずれも、従前の教育課程の評価問題とは異なった傾向の問題であり、現在学校現場で一般的に使用されている業者テストも、これらの出題傾向に十分対応できているとは言い難い。従ってこの形式の問題に習熟させるには学習支援プログラムの活用が欠かせない。

また、このような学力は、「総合的な学習の時間」を中心として達成される性格が強いものである。総合的な学習の時間における発表、資料の制作等の場面で教師が意図的に指導することが重要であろう。